

子どもの可能性は無限

校長 須藤 真

「子どもの可能性は無限」という言葉を耳にしたことがあるかもしれません。私が言い出した言葉ではありませんが、これまでの教員としての経験を通して、私の教育信条の一つになった言葉であります。いつも次のように職員に話しています。

「子どもの可能性は無限」

目の前の子どもたちを、「この程度だ」「これはむり」と大人が勝手に決めつけ、線を引いたら子どもたちは、そこまでの成長すらできないであろうそうではなく子どもを認めて、励まし、「必ずできる」と応援し、子どもが「こうなりたい」「これができるようになりたい」と本気で思ったら子どもは、大人の予想をはるかに越える力を発揮し大人の予想をはるかに越える成長を遂げる大人が子どもの可能性を制限してはいけない子どもの可能性は無限だから

子どもたちが、私が思っていた以上の力を発揮し、「こんなことが子どもにできるのか」と思うような、すばらしい成果を遂げた場面に何度か出合いました。

もちろん、子どもたちが誰でも、どんなことでもできる訳ではありません。しかし、大人が子どもの可能性を否定したり制限したりしてはいけないと思っています。

5月24日（火）の校長講話では、私が日頃取り組んでいるマーチングバンドについて紹介し、子どもたちに「夢をもって、それに向かってがんばってほしい」という思いを伝えました。



教育実習生 よろしくお祈いします

5月30日（月）～6月24日（金）の4週間、本校の卒業生である大原和也さんが、教育実習生として5年生を担当し、教員を目指して勉強中です。

5年生の明るく元気な子どもたちと一緒に、がんばって勉強しています。一緒に自然の家に行くのも楽しみです。よろしくお祈いします。



東根市教育委員会より、3か年間の研究校の委嘱を受け、今年度は2年目になります。本校の研究テーマは、「学びをつなぐ子どもの育成」です。

本校の研究では、
「①教材とつながろうとする子ども」
「②相手の考えとつながる子ども」
「③過去の自分と新たな自分をつなぐ子ども」
を目指す子どもの姿として、授業改善に取り組みます。また、次の3つの視点で取り組み、子ども自身の「つなぐ力」を高めていきます。

【視点1】教材とのつながり

- ・ 単元構成の工夫
- ・ 問題提示・課題提示の工夫
- ・ 見通しをもたせる工夫
- ・ 思考の焦点化
- ・ ICTの効果的な活用

【視点2】仲間とのつながり

- ・ 交流の目的の明確化
- ・ 発問の吟味
- ・ 交流の場の工夫
- ・ 伝え合う力の育成
- ・ ICTの効果的な活用

【視点3】自分とのつながり

- ・ 振り返りの目的の明確化
- ・ 振り返りの問い方の吟味
- ・ 振り返りの方法
- ・ 振り返りの見取り方と活かし方
- ・ 家庭学習との関連
- ・ ICTの効果的な活用



1	1	土	
1	2	日	
1	3	月	月例テスト週間
1	4	火	
1	5	水	
1	6	木	幼保小連絡会
1	7	金	プール開き クラブ活動①
1	8	土	e-ライブラリの日
1	9	日	e-ライブラリの日
2	0	月	職員会議 いじめアンケート
2	1	火	
2	2	水	5年宿泊体験学習（1日目）
2	3	木	5年宿泊体験学習（2日目）
2	4	金	委員会活動 代表委員会
2	5	土	
2	6	日	
2	7	月	校内教育支援委員会
2	8	火	
2	9	水	
3	0	木	6年修学旅行（1日目）
7	/	1	金 6年修学旅行（2日目）
2		土	
3		日	
4		月	学校集金振替日 授業研究会
5		火	立哨指導
6		水	立哨指導
7		木	全校スマイルタイム
8		金	委員会活動・代表委員会
9		土	
10		日	
1	1	月	月例テスト週間
1	2	火	市教育委員会訪問
1	3	水	民生委員児童委員懇談会